

Documentation

はじめに

検索の基本事項

技術的な要件

スパムに関するポリシー

SEO の基礎

クローリングとインデックス登録

ランキングと検索での見え方

モニタリングとデバッグ

サイト図解のガイド

この情報は役に立ちましたか？

フィードバック

Google ウェブ検索のスパムに関するポリシー

Google 検索に関連したスパムとは、ユーザーを欺いたり、コンテンツのランキングを上げる目的で Google の検索システムを操作したりするたように使用される手法を指します。Google のスパムに関するポリシーは、ユーザーを保護し、検索結果の品質を高めることを目的としています。Google ウェブ検索の検索結果 (Google がウェブ全体から検出したウェブページ、画像、動画、ニュースコンテンツなどのコンテンツ) に表示されるようにするには、**Google 検索の全体的なポリシー**、またはこのページに記載されているスパムに関するポリシーに準拠している必要があります。これらのポリシーは、Google 独自のプロバイダに表示されるものも含め、すべてのウェブ検索結果に適用されます。

Google では、自動システムと、必要に応じて行われる人間による審査によって、ポリシーに違反した行為を検出しています。場合によっては、**手動による対策**を実施します。Google のポリシーに違反しているサイトは、検索結果での掲載順位が下がったり、まったく表示されなくなったりすることがあります。

Google のスパムに関するポリシーに違反していると思われるサイトがある場合は、**検索品質に関するユーザーレポート**を提出してお知らせください。Google は、問題を自動的に解決できる低確率可能なソリューションの開発に重点を置いています。提出されたレポートは、スパム検出システムの改善に活用させていただきます。

Google のポリシーは一般的なスパム行為を対象としています。検出したいかなる種類のスパム行為に対しても適用される可能性があります。

クローキング

クローキングとは、検索ランキングを操作したりユーザーに誤解を与えたりすることを目的に、ユーザーと検索エンジンに真なるコンテンツを表示することで、クローキングの例としては、次のようなものが挙げられます。

検索エンジンには旅行の目的地に関するページを表示しながら、ユーザーに対しては別の割引に関するページを表示する

ページをリクエストしたユーザー エージェントが人間のユーザーではなく検索エンジンである場合にも、ページにテキストやキーワードを挿入する

検索エンジンがアクセスしにくい技術 (JavaScript や画像など) を自分のサイトで使用している場合は、クローキングを行わずに検索エンジンとユーザーがそのコンテンツにアクセスできるようにするための方法がありますので、ご覧ください。

サイトをハッキングした際に、ハッキングしたことをサイト所有者に気づけられないように、ハッカーがクローキングを行うことは珍しくありません。詳しくは、**ハッキングされたサイトを修正する方法**とハッキングの回避方法に関する説明をご覧ください。

ペイウォールやコンテンツゲーティング メカニズムを導入している場合、ゲート付きコンテンツにアクセスできるユーザーと同じように、ペイウォールの内側にあるすべてのコンテンツを Google が参照できるようにして、**Flexible Sampling**に関する一般的な**ガイド**に沿っていれば、クローキングとは見なされません。

誘導ページの不正使用

誘導ページの不正使用とは、特定の類似した検索語句で検索結果の上位に表示されることを目的にサイトまたはページを作成することで。誘導ページは、最終的なアクセス先となるサイトやページに比べ有用性の低い中間ページにユーザーを誘導します。誘導ページの不正使用の例としては、次のようなものが挙げられます。

URL とホームページが微妙に異なるウェブサイトを複数用意し、特定の検索キーワードに関してリッチを最大化する

特定の地域や都市を対象としたドメイン名やページを複数持ち、それらのドメインから 1 つのページにユーザーを誘導する

サイト内の有用なコンテンツや関連性の高いコンテンツにユーザーを案内することを目的としてページを生成する

サイト内における階層が明確に定義されていないため、構造としては検索結果の一覧に近く、内容が類似する複数のページを作成する

期限切れのドメインの不正使用

期限切れのドメインの不正使用とは、期限切れのドメイン名を主に検索ランキングを操作する目的で購入し、ユーザーにとってほとんどまたはまったく価値がないコンテンツをホストするために再利用することで。例としては次のものがありますが、これらに限定されません。

以前に政府機関が使用していたサイトで、アフィリエイト コンテンツを掲載する

以前に非営利の医療団体が使用していたサイトで、医療関連の商品を営利目的で販売する

以前に小中学校が使用していたサイトで、カジノ関連のコンテンツを掲載する

ハッキングされたコンテンツ

ハッキングされたコンテンツとは、サイトのセキュリティ上の脆弱性に付け込まれ、許可なくサイトに配置されたコンテンツのことです。ハッキングされたコンテンツによって、有用でない検索結果がユーザーに表示されるだけでなく、ユーザーのパソコンに悪意のあるコンテンツがインストールされるおそれもあります。ハッキングの例としては、次のようなものが挙げられます。

コードインジェクション:ウェブサイトへのアクセス権を手に入れたハッカーが、サイト上の既存ページに悪意のあるコンテンツを挿入しようとする場合があります。これは多くの場合、悪意のある JavaScript をサイトに直接挿入するか、iframe に挿入するという形で行われます。

ページインジェクション:セキュリティ上の欠陥によって、ハッカーがサイトに、スパム行為のあるコンテンツや悪意のあるコンテンツを含む新しいページを追加できる場合があります。このようなページは多くの場合、検索エンジンで操作したり、フィッシングしたりすることを意図しています。サイトの既存のページにはハッキングされた形跡が見られなくても、このように新たに作成されたページによって、サイトにアクセスしたユーザーや検索結果におけるサイトのパフォーマンスに影響が及ぶおそれがあります。

コンテンツインジェクション:ハッカーがサイト上の既存ページをひそかに操作しようとすることもあります。ハッカーの目的は、検索エンジンには認識されても、ウェブマスターやユーザーには見つけにくいようなコンテンツをサイトに追加することです。これは、CSS や HTML を使用してページに**隠しリンク**や**隠しテキスト**を追加する手法や、**クローキング**のように複雑な変更を加える手法で行われます。

リダイレクト:ハッカーは、有害なページやスパム行為をするページにユーザーをリダイレクトする悪質なコードをウェブサイトに挿入することがあります。この種のリダイレクトは、リファラー、ユーザー エージェント、デバイスによって異なる場合があります。たとえば、Google 検索結果から URL をクリックすると不審なページにリダイレクトされても、同じ URL にブラウザから直接アクセスするとリダイレクトされない場合があります。

ハッキングされたサイトの修正とハッキングの防止に関するヒントをご覧ください。

隠しテキストと隠しリンクの不正使用

隠しテキストや隠しリンクの不正使用とは、検索エンジンで操作することのみを目的としてページにコンテンツを配置し、人間のユーザーには見えにくくする行為です。隠しテキストや隠しリンクの不正使用の例としては、次のようなものが挙げられます。

白の背景で文字の色を白にする

テキストを画像の背後に置く

CSS を使用してテキストを画面の外に配置する

フォントサイズまたは不透明度を 0 に設定する

目立たない 1 文字 (段落の中頃に「ハイファン」など) のみをリンクにすることで隠す

現在では、コンテンツの表示 / 非表示を動的に制御する方法を活用して、ユーザー エクスペリエンスを高めるウェブデザイン要素が多数存在します。以下の要素は Google のポリシーに違反していません。

追加コンテンツの表示 / 非表示を切り替えるアコーディオンやタブ形式のコンテンツ

複数の画像やテキスト段落を切り替えるスライドショーやスライダー

ユーザーが要素に対してなんらかの操作をしたときに追加コンテンツを表示するツールチップや類似のテキスト

スクリーンリーダーを使用するユーザーのエクスペリエンスを高めることを目的として、スクリーンリーダーのみがアクセスできるテキスト

キーワードの乱用

キーワードの乱用とは、Google 検索結果のランキングを操作する目的で、ウェブページにキーワードや数字を詰め込むことです。キーワードの乱用では、不自然にリストやグループの形式を使ったり、関連性のない場所でキーワードが記載されたりする傾向があります。キーワードの乱用の例としては、次のようなものが挙げられます。

実質的な付加価値のない電話番号の羅列

ウェブページが特定の都市や地域に関する検索結果の上位に掲載されるようにするために、都市名や地域名を羅列したテキストのブロック

同じ単語や語句を不自然なほど繰り返すこと。たとえば次のようなものです

無制限のアフリストア クレジット。アフリストア クレジットを無償で提供するを主張するサイトは数多く存在しますが、すべて偽物であり、無制限のアフリストア クレジットを提示しているユーザーをいつも混乱させています。この Web サイトでは、無制限のアフリストア クレジットを取得できます。アフリストア クレジットが無制限の当社のページに今すぐアクセスし、クレジットを入手しましょう。

リンクスパム

リンクスパムとは、検索ランキングを操作することを主な目的として、サイトへのリンクやサイトからのリンクを作成する行為です。リンクスパムの例としては、次のようなものが挙げられます。

ランキングを上げることを目的としたリンクの売買。次のような行為がこれに該当します。

リンク自体やリンクを含む投稿に関して金銭をやり取りする

リンクに関して物品やサービスをやり取りする

特定の商品について記載したリンクを設定してもらうのと引き換えにその商品を送る

逆刺し相互リンク (リンクする代わりにリンクしてもらう) や、相互リンクのみを目的としてパートナー ページを作成する

自動化されたプログラムやサービスを使用して自分のサイトへのリンクを作成する

第三者のコンテンツ所有者に対し、**アウトバウンド リンクに修飾属性を適用**するかどうか選ぶ権利を与えずに、特定の利用規約や契約、または同様の取り決めの一部として、リンクを義務付ける

ランキング クレジットをブロックしないテキスト広告またはテキストリンク

ランキング クレジットを転送するリンク、または他のサイトで配布されている記事、ゲスト投稿、プレスリリース内の作家的なアンカーテキスト リンクを含む記事に対して支払いが行われる記事広告やネイティブ広告。たとえば次のようなものです。

市場には多くの結婚指輪が流通しています。結婚式を挙げるなら、最高の指輪を揃えなければなりません。花やウェディングドレスの購入も必要になります。

質の低いディレクトリやブックマーク サイトのリンク

さまざまなサイトに配布されるウィジェットに埋め込まれている、大量のキーワードを含む非表示のリンクや低品質のリンク

さまざまなサイトのフッターやテンプレートに埋め込まれて広く配布されるリンク

フォーラムでのコメントにおいて、投稿や署名の中に含まれる作作的なリンク。たとえば次のようなものです。

ありがとう。とても参考になりました。

ボールのビザンディエコのビザンディエコで一番のビザ

リンクとランキングノアルの操作を主な目的とした価値の低いコンテンツの作成

Google は、リンクの売買も、広告やスポンサー活動もして行われる限り、ウェブ上で通常の経済活動の一環だということを理解しています。こうしたリンクは、**rel="nofollow"** 属性や **rel="sponsored"** 属性を **<a>** タグに設定している限り、Google ポリシーに対する違反にはなりません。

機械生成トラフィック

機械生成トラフィック (**自動生成トラフィック**とも呼ばれます) とは、Google に自動生成クエリを送信する行為を指します。ランキングの増進を目的としたスクレイピングや、明示的な許可なく Google 検索に自動アクセスするその他の行為もこれに含まれます。機械生成トラフィックは、リソースを消費し、ユーザーに最適なサービスを提供する妨げとなります。このような行為は、Google のスパムに関するポリシーおよび **Google 利用規約**に対する違反となります。

マルウェアや悪意のある行為

Google は、ユーザー エクスペリエンスに影響を及ぼすマルウェアや望ましくないソフトウェアをウェブサイトでホストしていないが確認しています。

マルウェアとは、ソフトウェアまたはモバイルアプリであり、特にパソコン、モバイル デバイス、それらで実行されているソフトウェア、およびそれらのユーザーに有害な影響を与えることを目的として設計されたものを指します。マルウェアは、ユーザーの同意なしにソフトウェアをインストールする、ウイルスなどの有害なソフトウェアをインストールするなど、悪意のある動作を示します。ダウンロード可能なファイルがマルウェアとみなされることをウェブサイトの所有者が知らずに、こうしたバリエーションを意図せずホストしてしまうことがあります。

望ましくないソフトウェアとは、不正な行為や予期しない動作、ユーザーのウェブ閲覧やパソコン操作に影響を及ぼす動作を引き起こす実行ファイルやモバイルアプリのことを指します。たとえば、ホームページ設定やその他のブラウザ設定をユーザーが望んでいない設定に変更するソフトウェアや、適切な開示を行わずに個人情報を漏洩するアプリが該当します。

サイト所有者は、望ましくないソフトウェアに関するポリシーに違反していないことを確認し、**Google のガイドラインに準拠**する必要があります。

誤解を招く機能

誤解を招く機能とは、ユーザーを欺き、コンテンツやサービスに実際にはアクセスできないのにアクセスできると誤解させるようなサイトを意図的に作成する行為を指します。誤解を招く機能の例としては、次のようなものが挙げられます。

アフリストア クレジットを提供すると言いつながら実際には提供していない、フィーク生成ツールを備えたサイト

特定の機能 (PDF の統合、カウントダウン タイマー、オンライン辞書サービスなど) を提供すると装い、ユーザーを意図的に誘導して虚偽の広告を表示するサイト

大量生成されたコンテンツの不正使用

大量生成されたコンテンツの不正使用とは、ユーザーをサポートすることではなく、検索ランキングの操作を主な目的として大量のページを生成することです。この不正行為は通常、ユーザーにとってほとんどまたはまったく価値がなく、独自性のないコンテンツをその作成方法は問わず、大量に作成することに特化しています。

大量生成されたコンテンツの不正使用の例には次のものがありますが、これらに限定されません。

生成 AI ツールまたはその他の同様のツールを使用して、ユーザーにとっての価値を付加することなく大量のページを生成すること

フィード、検索結果、その他のコンテンツをスクレイピングして、ユーザーにとってほとんど価値がない大量のページを生成すること (類義語生成、翻訳、その他の自動化手法などを使用)

複数のウェブページからのコンテンツを、価値を加えることなくぎっしり組み合わせたりすること

コンテンツを大量生成したことを隠す目的で複数のサイトを作成すること

検索キーワードは含んでいるものの、閲覧者にとってほとんどまたはまったく意味がないコンテンツのページを大量に作成すること

このようなコンテンツを自分のサイトでホストしている場合は、**検索から除外**できます。

スクレイピング

スクレイピングとは、他のサイトのコンテンツを、多くの場合は自動化された方法で収集し、それを検索ランキングを操作する目的でホストする行為を指します。不正なスクレイピングの例としては、次のようなものが挙げられます。

他のサイトのコンテンツを、元のソースを引用もせず、独自のコンテンツや価値を加えずに転載する

他のサイトのコンテンツをコピーし、(語句を類義語に置き換えたり**自動化された手法**を使用したりして) 若干の修正を加えたうえで転載する

ユーザーに対してなんらかの形で独自のメトリックを提供することなく、他のサイトからのコンテンツ フィードをそのまま転載する

ユーザーに実質的な付加価値を提供することなく、他のサイトの動画、画像、その他のメディアなどのコンテンツを埋め込んだり編集したりしているだけのサイトを作成する

サイトの評判の不正使用

サイトの評判の不正使用とは、ホストサイトにおいて、基本的にファーストパーティのコンテンツによってでに確立されたランキング システムを利用することを主な目的として、そのサイトに上位パーティのコンテンツを公開する行為を指します。これは、サードパーティが独自に公開する場合に比べて、当該のコンテンツがより上位にランク付けされるようにすることを目的としています。

サードパーティのコンテンツとは、確立されたホストサイトとは別の当事者が作成したコンテンツのことです。別の当事者の例には、そのサイトのユーザー、フリーランサー、ホワイトラベル サービス、ホストサイトに直接雇用されていない人物が作成したコンテンツなどがあります。

サードパーティのコンテンツを使用するというだけでは、サイトの評判の不正使用に関するポリシーに違反したことはありません。サードパーティのコンテンツが、すでに確立されたホストサイトのランキング システムを利用することを主な目的としたホストサイトに公開されている場合にのみ、違反となります。サイトの評判の不正使用の例には次のものがありますが、これらに限定されません。

サードパーティによって書かれた短期間のスポンサー付きレビューに関するページが教育関連のサイトによってホストされている。同じページがウェブ上の他のサイトにも配信されている

読者が予想もない「最高のカジ」に関するサードパーティ ページが医療サイトでホストされている。このページは確立された医療サイトのランキング システムを利用して検索ランキングを向上させるために配置されている

映画レビューサイトに表示されるとユーザーが困惑するようなトピック (「ソーシャル メディア サイトでフォローを購入する方法」「優れた古いサイト」「優れた小説文作成サービス」など) を扱うサードパーティ ページが映画レビューサイトにホストされている

サードパーティのホワイトラベル サービスが提供するクーポンがニュースサイトでホストされている。ニュースサイトの評判を利用することが、そのニュースサイトでクーポンを提供する主な理由である

確立されたファーストパーティのサイトが、新しい分野に進出する際にフリーランスのコンテンツを主に使用している。その理由が、こうしたコンテンツは独自のサイトで公開される場合よりもファーストパーティのサイトで公開された方が上位にランク付けされるからである

このポリシーに違反するページをホストしている場合は、**この問題を修正する方法**をご覧ください。

サイトの評判の不正使用とは**見なされない**例としては、次のものがあります。

ニュース サービスまたはプレスリリース サービス用のサイト

他のニュース メディアからのニュース コンテンツをシンジケーションしているニュース メディア

フォーラム ウェブサイトやコメント セクションなど、ユーザー作成コンテンツが可能なように設計されたサイト

コラム、意見記事、記事、その他の編集記事

出版物のコンテンツ (「記事広告」や「ネイティブ広告」などのページ) で、コンテンツを直接読者に共有することを目的として作り (出版物内のプロモーションとしてなど)、コンテンツをホストしている目的は検索ランキングを操作するためではないコンテンツ全体での**適切な処理されたリンク**でのアフィリエイト リンクの使用、またはページ全体でのサードパーティの広告ユニットの埋め込み

販売者や、消費者に商品やサービスを提供するその他の企業から直接獲得したクーポン

不正なリダイレクト

リダイレクトとは、サイトにアクセスしようとしたユーザーを、最初にリクエストされた URL とは別の URL に移動させることです。不正なリダイレクトとは、ユーザーと検索エンジンに異なるコンテンツを表示したり、ユーザーの本来のニーズを満たさない想像外のコンテンツを表示したりすることを目的に、悪意を持ってこれを行うことを指します。不正なリダイレクトの例としては、次のようなものが挙げられます。

検索エンジンに示しているコンテンツ タイプとまったく異なるコンテンツにユーザーをリダイレクトする

パソコンのユーザーには通常のページを表示し、モバイル ユーザーはまったく別の別ドメインにリダイレクトする

不正なリダイレクトはスパムの一種ですが、正当な理由で、ある URL から別の URL にリダイレクトする、スパムではないものも多数あります。正当なリダイレクトの例としては、次のようなものが挙げられます。

サイトを新しいアドレスに転移する

複数のページを 1 つに統合する

ログアウト後にユーザーを内部のページにリダイレクトする

リダイレクトが不正なものかどうかを調べる場合は、リダイレクトがユーザーまたは検索エンジンで欺くことを意図したものかどうかを確認してください。詳しくは、**サイトでリダイレクトを選択的に使用**する方法をご覧ください。

内容の薄いアフィリエイト サイト

内容の薄いアフィリエイト サイトとは、商品の説明やレビューを元の販売者からそのままコピーし、独自のコンテンツや付加価値を加えない状態で、商品のアフィリエイト リンクを含むコンテンツを掲載する行為です。

アフィリエイト ページが、独自の価値を付加することなくアフィリエイト ネットワークでコンテンツを配信するプログラムの一部である場合、内容が薄いと判断されます。こうしたサイトの多くは、同じコンテンツや類似コンテンツを同一サイトや複数のドメイン / 言語間で複製した、画一的なサイトもしくはランプレートを_using_しています。検索結果ページから複数のサイトが返され、そのすべてのコンテンツが同じである場合、内容の薄いアフィリエイト ページとして、ユーザー エクスペリエンスの低下を招きます。

ただし、アフィリエイト プログラムに参加しているサイトが、すべての関連するアフィリエイト サイトというわけではありません。優れたアフィリエイト サイトは、有意義なコンテンツや機能を提供することで新たな価値を加えています。たとえば、価格、独自の商品レビュー、厳格なテストと評価、商品やカテゴリのナビゲーション、商品の比較などに関する追加情報を提供しています。

ユーザー生成スパム

ユーザー生成スパムとは、ユーザー コンテンツを対象としたチャネルを経て、ユーザーによってサイトに追加されたスパム コンテンツです。スパム、フィッシング、マルウェアを報告する

ユーザー生成スパム コンテンツの例としては、次のようなものが挙げられます。

誰でも登録できるホスティング サービスのスパム アカウント

フォーラムのスレッドにおけるスパム投稿

ブログへのスパムコメント

ファイル ホスティングプラットフォームにアップロードされたスパムファイル

サイト的一般公開領域における不正使用を防止するためのヒントをご覧ください。ハッキングされたサイトの修正とハッキングの防止に関するヒントをご覧ください。

ランキングの降格や削除につながる可能性のあるその他の行為

法律に基づく削除

特定のサイトに関わる**有効な著作権侵害**による**削除通知**が大量に届いた場合、**Google はその通知を根拠として**、同じサイトの残りのコンテンツが検索結果に表示される順位を下げることで、その処置により、著作権侵害者にもたらされるコンテンツが他にある場合、元にはならないコンテンツが上位に表示される可能性は低くなります。Google では、名誉毀損、偽造品、裁判所による削除命令に関する申し立てにも同様の降格/上ガレを適用します。児童性的虐待のコンテンツ (CSAM) の場合は、そのようなコンテンツが確認されれば必ず削除し、CSAM のコンテンツが多く含まれるサイトのすべてのコンテンツについて、検索結果に表示される順位を下けます。

個人情報の削除

不当な**個人情報**を求めているサイトに関連して Google が個人情報の削除対応を大量に行った場合、同じサイトの他のコンテンツが検索結果に表示される順位が下がります。また、他のサイトでも同じ動作パターンが発生しているかどうか**も確認**され、そのようなパターンが発生しているサイトのコンテンツも掲載順位が下がります。**誤り行為のコンテンツ**、**当人の同意なく作成または共有された虚偽な個人の画像**、**当人の同意のない虚偽な虚偽の内容**についての削除リクエストが大量に続くようにしても、同様の降格措置を適用する場合があります。

ポリシーの回避

Google のスパムに関するポリシーや **Google 検索のコンテンツ ポリシー** の回避を目的とした行為に関与し続けたサイトに対しては、Google は、検索の一部の機能 (トップニュース、Discover など) の利用資格を制限または削除する。Google 検索でのより広範な措置 (検索結果からサイトの除外や不正なコンテンツを含むページを特定し、Google 検索の検索結果に表示されないようになっているコンテンツには次のようなものが含まれますが、これらに限定されません)。

ポリシー違反を継続する目的で、既存のサブドメイン、サブドメインのリンクや画像を盗用し、他の方法を作成したりする

コンテンツの配信の継続や、ポリシー違反を目的とした行為への継続的関与を意図した他の方法を使用する

詐欺や不正行為

詐欺や不正行為にはさまざまな形態があります。たとえば、なりすましサイトで公式の企業やサービスを装う、企業またはサービスについて虚偽の情報を意図的に表示する、虚偽表示でサイトにユーザーを誘導するなどが挙げられます (これらに限定されません)。Google では、自動システムを使用して、詐欺や不正なコンテンツを含むページを特定し、Google 検索の検索結果に表示されないよう努めています。オンラインでの詐欺や不正行為の例としては、次のようなものが挙げられます。

有名な企業やサービス プロバイダをなりすましてユーザーをだまし、別の人から料金を支払わせる

正当な企業に代わって公式のカスタマー サポートを提供したり、そのような企業の連絡先情報を提供したりするといった偽のサイトを作成する

この情報は役に立ちましたか？

フィードバックを送信

特に記載のない限り、このページのコンテンツはクリエイティブ・コモンズの表示 4.0 ライセンスにより使用許諾されます。コードサンプルは Apache 2.0 ライセンスにより使用許諾されます。詳しくは、**Google Developers** サイトのポリシーをご覧ください。Java は Oracle および関連会社の登録商標です。

最終更新日: 2025-08-04 UTC。